

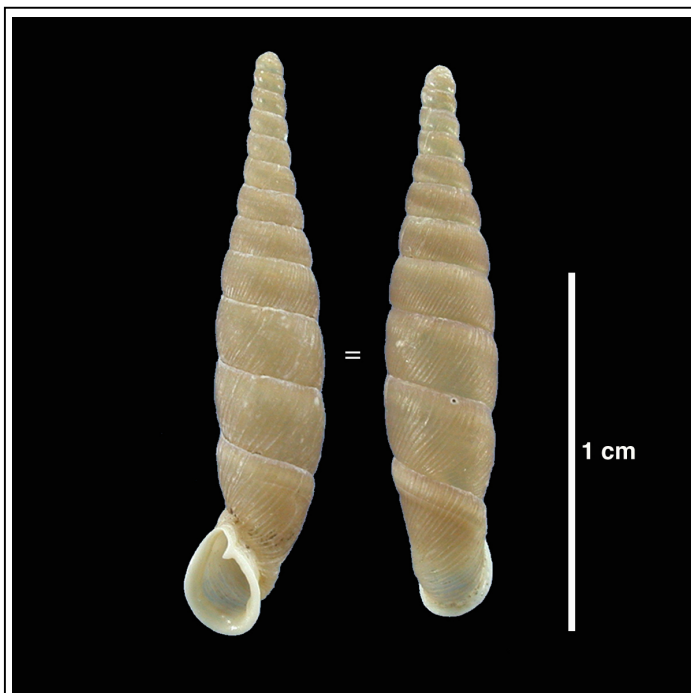
クビナガギセル *Megalophaedusa kubinaga* (Kuroda)

【選定理由】

本種の模式産地は石巻山で、中腹以上の石灰岩の岩礫地の落葉下に生息している。模式産地以外に生息地は発見されておらず、本種は石巻山特産種といえる。現在はマツクイムシの薬剤空中散布で絶滅に瀕した過去から回復し、一時と比べ多産する様になったが、生息範囲は非常に狭く、手厚い保全が望まれる。

【形態】

殻はやや小形で殻高 18 mm、殻径 3.8 mm、12 1/3 層、殻口は小さく著しく突き出て頸部は細くて長い。主襞は長く、月状襞は顕著である。



豊橋市石巻山山頂付近, 1989年5月28日, 木村昭一採集

【分布の概要】

愛知県豊橋市石巻山の特産種である。

【生息地の環境／生態的特性】

石灰岩の岩礫地の間の落葉下に群れて生息する。発生は卵生。

【現在の生息状況／減少の要因】

現在はマツクイムシの薬剤空中散布で絶滅に瀕した過去から回復し、多産する様になったが、個体数は年による変動が認められる。

【保全上の留意点】

生息確認地（石巻山）を中心とした岩礫地の保全に留意する。

【特記事項】

石巻山の特産種で模式産地である。

【関連文献】

吉田博士祝賀記念誌論文篇, 1939. 三河石巻山嵩山(スセ)の陸貝相, p.676.

天野景従, 1966. 愛知県の陸貝相. 東海高校研究紀要 4:13.

愛知県科学教育センター, 1967. 愛知の動物, p.151.

野々部良一・高桑 弘・原田一夫, 1984. 陸産貝類. 愛知の動物, p.28. 愛知県郷土資料刊行会.

柴田吉夫, 1995. 北設山岳県立公園一帯の自然科学. 北設山岳県立公園及びその付近の陸産貝類, p.81. 愛知県商工部通商観光課・北設山岳県立公園地区協議会・鳳来寺山県立公園地区協議会.

東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑, p.54. 保育社.

(2009年版(原田)を一部修正)